

自治振興会の紹介



2005年正月イルミネーション



地域住民の主体的・自主的な取組みによる活力ある地域づくりの推進—を実現するため、地域住民の意識を一つにする事を出発点としています。当面は「意識統一年」と位置付けて活動し、地域住民参画の大イルミネーション設置と地域の伝統文化である神楽などのイベントを実施しています。今年度は更に輪をを広げ都市との交流の場づくりを展開していきます。また桜干本を植栽し、桜公園造りを計画しています。公園の維持は大変ですが、みんなで協力し合いながら続けていければと頑張っています。

(公長 川上 忠徳)

西油木自治振興会

西油木自治振興会は、振興会活動の自主的である「地域住民の主体的・自主的な取組みによる活力ある地域づくりの推進—を実現するため、地域住民の意識を一つにする事を出発点として



伝統の神楽

上豊松自治振興会

秋には、稲刈り・芋掘りが待っています。収穫したもち米の一部は、両小学校へ送られて餅つきなどの学校行事に使われ、米作りを通じて交流の輪が広がり大変喜ばれています。田植えと芋の植付けが終わると、手作りの山菜料理の数々とカレーライスで昼食をとりました。これまでの先輩方のご努力に感謝しつつ未長く交流事業が続くよう、自治振興会として頑張りたいと思います。

(総務企画部長 藤井 善春)



交流田植えの様子

米が取り持つ「まちとむらの交流」

上豊松自治振興会では、五月十四日(土)福山市伊勢丘小学校と豊松小学校の生徒四十名、その他の参加者六十一名、合計一〇一名で交流田植えを行いました。この行事は二十年以上前から続き、合併に伴って旧豊松公民館から生涯学習部会が引き継いだものです。スタッフはこの日のために、田の準備や昼食の献立・安全対策など一丸となつて取り組みました。コミュニティーセンター近くの田んぼで「コノエ餅」の苗を一株つつ編をたよりに「コノエ餅」の苗を一株つつ編をたよりに

丁寧な植付けました。田植えの後、すぐ隣の圃場へサツマイモの苗を植えました。



ハブニングもありました